

# 事務局便り

令和4年10月吉日

## \*“紙上総会”承認 ご協力ありがとうございました。

7月に機関誌2号とともに同封し、会員の皆様に「紙上総会」の形でご審議をお願いしました議案についてご報告いたします。

①令和3年度会務報告 ②令和3年度会計報告 ③令和3年度会計監査報告 ④令和4年度役員 ⑤令和4年度事業計画 ⑥令和4年度予算 ⑦令和5年度研究主題及び発表県 ⑧令和6年度研究主題及び発表県 ⑨第72回全国家庭科教育協会研究大会 決議 以上9件について、すべて承認されました。  
(決算及び予算、役員につきましては、機関誌3号p.32をご覧ください。)

## \*第72回研究大会 ハイフレックス型開催 盛会にて終了

・今号は、8月2日(火)3日(水)に開催された第72回全国家庭科教育協会研究大会の特集号です。本協会としては、ハイフレックス型での開催は、春期研修会で経験はありますが、小・中部会、高等学校部会と会場を2つに分けての開催は初めてのことでした。少し慣れたとはいえ、役員・常任理事の素人集団による運営で、音声途切れるなどのトラブルがありましたが、142名(オンライン96名、会場46名)の参加により盛会にて終了することができました。大会の記録を本誌p.3~31に掲載いたしましたので、お読みになっていただければ幸いです。

・今大会での研究発表は、「研究集録」に収められております。年間指導計画や評価計画、ワークシート、生徒の感想等が載せられていますので、授業研究の参考として貴重な資料になります。一冊2,000円(送料込み)でお分けいたします。

・研究大会で報告した研究調査報告の中で、「家庭科の指導における課題」の図表に誤りがありましたこととお詫び申し上げます。

今回同封した「家庭科教育の充実に関する調査」報告書(p17)をご確認くださいようお願いいたします。

・参加者アンケートは、ホームページにアップいたしました。概ね満足していただけたようですが、ご指摘いただいた点を春期研修会、次回の研究大会に活かして参ります。アンケートに回答いただいた皆様ありがとうございました。以下に一部のご回答を紹介いたします。

(研究発表・関連) 小・中・高で関連を図った系統的な授業実践を伺い、とても勉強になりました。

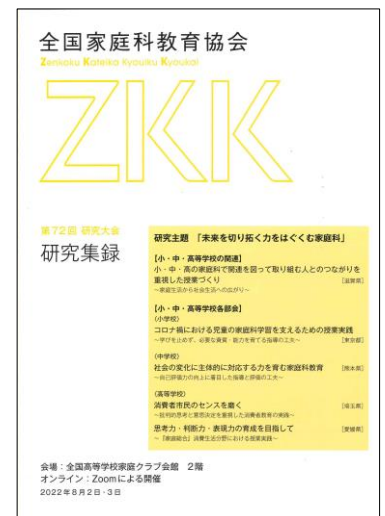
(講演) 格差の中でも生徒を育み引き上げる、日々の努力の大切さを再認識しました。

(研究発表・小中) コロナ禍における実習の工夫やオンライン展覧会の実践、課題をいかに自分ごとに捉えさせるかの手立てとその実践が与える生徒の生き方への影響を目の当たりにした。

(研究発表・高校) ・生徒の関心が低い単元を、こんなにも生き生きと取り組む授業にすることができることに驚くと共に自身の勉強不足を反省した次第です。是非活用させていただきたいと思います。

(校種別研修会・小中) 実際にワークシートを作成していくことができ、日頃は一人で作成することが多いので、「思考・判断・表現」の視点から作成することができ、大変勉強になりました。

(校種別研修会・高校) ・石島先生の調理実習実践例がとても参考になりました。また、オンラインで遠く離れた場所の先生方と授業について、一緒に考えることができ、とても刺激になりました。



## \*令和5年度 第73回研究大会開催日

参加者アンケートをうけ、次年度の研究大会の開催日・方法・会場について検討し、現在のところ以下のように予定をしております。来年度のご参加もお待ちしております。講演講師などのご希望がありましたら、ホームページのお問い合わせフォームよりご連絡ください。

令和5年8月8日(火)9日(水)の2日間 ハイフレックス型開催 会場：家庭クラブ会館2階

## \*春期研修会の開催について

研究大会と同様にハイフレックス開催を計画しております。現在、その内容及び講師の先生について検討中です。次号、4号機関誌送付時には詳しくご案内いたします。どうぞご期待ください。

## シリーズ ～全国家庭科教育協会の歴史～ (1) 研究大会のはじまり

前回の事務局便りで、全国家庭科教育協会のシンボルフラワーは「カーネーション」であることをお知らせしました。今回は、研究大会のはじまりについてお知らせします。第72回を迎えている研究大会は、いつから始まったのでしょうか。本協会の「歩み」によると、昭和25年4月1日に第1回（昭和24年度）総会が実施されていることが記され、第7回（昭和30年度）総会の時から、講習会開催（東京教育大学附属中学校講堂）と記され、第11回（昭和34年度）総会の時から、研究発表会、講習会開催（杉野学園ドレスメーカー女学院）と記されています。

第1回と思われる研究大会の記録は、雑誌『家庭科教育』24巻3号（昭和25（1950）年3月発行 p.43）に見ることができました。右がその宣伝の1ページです。当時文部省告知された「職業・家庭科」について、関係の文部省事務官全員を招聘し講演していただく他、デモンストレーションとして研究授業の参観もあったようです。講習会3日目の3月29日に「規約草案の上程議決」「会長・副会長の推戴式」を実施した全国大会を行っています<sup>1)</sup>。これが第1回の総会に当たると思われます。

第7回（昭和30年度）総会の講習会では、主題「改訂家庭科学習指導要領の趣旨徹底」を山本キク、武田一郎ら11名の講師陣により、小・中・高とも各府県から2～3名の受講者となっているので現在のような研究発表とは趣が異なっていたようです<sup>2)</sup>。第11回（昭和34年度）総会時の研究発表会、講習会は、高等学校、中学校、小学校に分かれ、高等学校は1名、中学校は3名、小学校は9名の先生が研究発表を行っています<sup>3)</sup>。この後2年間は東京在住の役員が中心となって指導資料を作成・発表していますが、昭和37年度には、8名の高等学校の先生が発表を行っています。そして、昭和40年度より、「関連」「小学校」「中学校」「高校」の研究発表が行われるようになっています<sup>4)</sup>。その頃から「総会」と同時に「研究発表」や「講習会」を行っています。本協会は、設立当時から、目の前の家庭科教育の課題を解決するための研究・研修機関であったことに間違いはありません。

**ベストメンバーで**

### 職業・家庭科講習会

日時 三月廿七日(月)から廿九日(水)まで四日間  
会場 下谷町東京都立第一女子(改称白鳥高校校舎)  
旗竹町、地下鉄いなり町、国電豊島町下車  
三十日は中央区立南中学校

主催 全国家庭科教育協会  
後援 文部省(申請中) 日本家政学会 家政教育社

特別講演  
デモンストレーション  
― 職業科担任の協力を中心として ―  
中央区立南中学校教諭 木村 愛子  
労働事務官(交通中)

|   |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|
| 日 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 曜 | 日  | 月  | 火  | 水  |
| 1 | 開  | 島  | 研  | 見  |
| 2 | 野  | 田  | 究  | 学  |
| 3 | 上  | 共  | 学  | 特  |
| 4 | 山  | 谷  | 校  | 別  |
|   | 本  | 大  | 講  | 講  |
|   | 山  | 森  | 義  | 演  |
|   | 本  | 水  | 石  |    |
|   | 木  | 谷  | 田  |    |

申 毎九時より四時まで、但し第一日は九時半開会  
右記は概略で(講習会にお困りの方はその旨申し出てください)  
全国家庭科教育協会事務所  
東京都杉野区内和野二〇一

- 1) 家庭科教育 24巻5号 P61 昭和25（1950）年5月発行 家政教育社
- 2) 機関誌「家庭科」No53～54（昭和31年1月15日発行） 機関誌「家庭科」アーカイブ 全国家庭科教育協会
- 3) 機関誌「家庭科」No103～106（昭和35年5月28日発行） 機関誌「家庭科」アーカイブ 全国家庭科教育協会
- 4) 全国家庭科教育協会60周年記念誌 P62～63 平成22（2010）年3月1日発行 全国家庭科教育協会